

大崎市 議会 だより



第87号

令和7年9月1日発行

- トピックス……………2～3
- 議案審議……………4～7
- 一般質問……………8～15

今回の定例会は



段ボールでなにを作ろうかな？

大崎市図書館（古川地域）

定例会トピックス



関連は6～7ページ

各種予防接種事業

4,897万円

新型コロナウイルスワクチン定期接種における国の助成が終了したため、委託料及び助成金を増額するとともに、子宮頸がんワクチンキャッチアップの接種に係る委託料と経費等を追加

世界かんがい施設遺産ツーリズム 拠点推進事業

1,567万円

南原穴堰（世界かんがい施設遺産）を活用した観光事業として、食と観光を組み合わせた取組やインバウンド（外国人観光客）も意識した新しい観光拠点づくりを行う

橋りょう長寿命化修繕事業

1億1,940万円

田尻地域貝ノ堀跨線橋の耐震補強補修工事を行う

地区集会所の譲与に伴う措置

大崎市地区集会所条例の 一部を改正する条例

市が所有、地域が指定管理していた集会所（鹿島台1か所・田尻2か所）について、地域への譲与の要件が整ったため、当該集会所を公の施設から廃止するもの

地域医療連携拠点施設整備工事 （債務負担行為）

35億6,436万円

外構追加工事と合わせ、実施設計および物価高騰等を踏まえた工事の見直しにより増額が必要となったため、契約を今年度中に締結する必要があることから、一括で計上

AI型学習用ドリルソフトウェア ライセンス購入（債務負担行為）

1,341万円

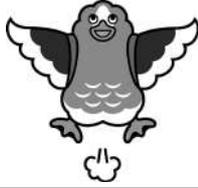
大崎市立の小中学校・義務教育学校にAI型ドリルを導入（国語・算数（数学）・英語・理科・社会）。児童生徒一人ひとりの習熟度に応じた学習を行い、個別最適な学びの実現と学力向上を目指す

財産の取得

小型消防ポンプ付軽積載車 （5台）の取得

3,683万円

老朽化した消防団車両を更新するため、小型消防ポンプ付軽積載車5台を取得（古川3台、岩出山1台、鳴子1台）



TOPICS

令和6年度一般会計補正予算(3月専決処分)

高付加価値化米づくり支援事業 ▲997万円

ささ結への作付拡大支援として行った事業だが、全国的な米不足で慣行栽培への移行増加により目標面積未達のため減額

新規就農総合支援事業 ▲4,902万円

新規就農者が複数名いたものの、本事業を申請しない方や申請条件に合わず申請件数が少なかったため減額

令和7年度一般会計補正予算(6月補正)

空き家対策事業 800万円

特定空家等の除却工事に対する補助を行う(対象経費の2分の1以内、上限50万円)

物価高騰対策

学校給食費 1,337万円

米価高騰により学校給食食材費の値上がり分を公費負担し、保護者負担を軽減

物価高騰対策

定額減税補足給付金支給事業 3億7,010万円

令和6年度分の所得税額、定額減税額などの確定後、結果として支給額に不足が生じた人等を対象として追加の給付を実施

災害時用備蓄品整備事業 600万円

避難所生活環境を改善する備蓄品の整備として、段ボールベッド300台、間仕切り用テント100組を追加

多忙化解消

教育支援員等配置事業 2,044万円

教員の事務負担軽減を目的とし、学校の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフ(20名)を配置

物価高騰対策

介護等施設継続支援事業 3,414万円

大崎市内の介護・障がい者施設に対し、物価高騰による食材費増加分を支援し、利用者負担を軽減

令和7年 第2回定例会

詳しくはこちらへ



今定例会では、市長提出の令和7年度大崎市一般会計補正予算をはじめとする予算案3件、条例6件、報告8件、専決処分8件、その他6件、議員提出議案3件が提出され、このうち議案第76号及び議案第77号は賛成少数で否決となりました。そのほかの議案は原案のとおり承認、可決されました。

議案審議
(こんな事を議論しました)

		件名	審議結果
報告	報告第1号	令和6年度大崎市一般会計繰越明許費繰越計算書	—
	報告第2号	令和6年度大崎市一般会計事故繰越し繰越計算書	
	報告第3号	令和6年度大崎市水道事業会計予算繰越計算書	
	報告第4号	令和6年度大崎市水道事業会計継続費繰越計算書	
	報告第5号	令和6年度大崎市下水道事業会計予算繰越計算書	
	報告第6号	令和6年度大崎市病院事業会計予算繰越計算書	
	報告第7号 ～第8号	交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	
専決処分承認	議案第52号	令和6年度大崎市一般会計補正予算(第14号)	原案承認
	議案第53号	令和6年度大崎市市有林事業特別会計補正予算(第1号)	
	議案第54号	令和6年度大崎市奨学資金貸与事業特別会計補正予算(第2号)	
	議案第55号	令和6年度大崎市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	
	議案第56号	令和6年度大崎市介護保険特別会計補正予算(第5号)	
	議案第57号	令和7年度大崎市一般会計補正予算(第2号)	
	議案第58号	大崎市市税条例の一部を改正する条例	
補正予算	議案第59号	大崎市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決
	議案第60号	令和7年度大崎市一般会計補正予算(第3号)	
条例	議案第61号	令和7年度大崎市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
	議案第62号	大崎市議会議員及び大崎市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	
	議案第63号	大崎市の行う選挙等における投票管理者等に対する報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
	議案第64号	大崎市地区集会所条例の一部を改正する条例	
	議案第65号	大崎市職員の育児休業等に関する条例及び大崎市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	
	議案第66号	大崎市市税条例の一部を改正する条例	
その他	議案第67号	大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
	議案第68号	財産の取得について	
	議案第69号	権利の放棄について	
補正予算	議案第70号 ～第72号	指定管理者の指定期間の変更について	原案可決
	議案第73号	令和7年度大崎市一般会計補正予算(第4号)	
その他	議案第74号	工事施行協定の締結について	原案可決
意見書	議案第75号	大崎市議会議員の請負の状況の公表に関する条例	否決
	議案第76号	新「食料・農業・農村基本計画」等に関する意見書	
	議案第77号	物価高騰の緊急対策として消費税5%への減税を求める意見書	

意見が分かれた議案の賛否一覧

議案第76号 新「食料・農業・農村基本計画」等に関する意見書
 議案第77号 物価高騰の緊急対策として消費税5%への減税を求める意見書

議案名	議員名	藤本 勘寿	小嶋 匡晴	小玉 仁志	山田 匡身	加川 康子	法華 栄喜	石田 政博	早坂 憂	伊勢 健一	鹿野 良太	佐藤仁一郎	八木 吉夫	佐藤 講英	佐藤 弘樹	中鉢和二郎	相澤 久義	木村 和彦	横山 悦子	関 武徳	遊佐 辰雄	只野 直悦	富田 文志	氏家 善男	木内 知子	小沢 和悦	佐藤 勝	鎌内つぎ子	後藤 錦信
議案第76号	議決結果	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	議
議案第77号	議決結果	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	議

「可」→可決、「否」→否決、「認」→認定、「○」→賛成、「×」→反対、「欠」→欠席、「議」→議長

議案審議（こんな事を議論しました）

議会の主な動き

- 4月**
 - 17日 会派代表者会議
 - 21日 情報化対策特別委員会
 - 22日 議会運営委員会
 - 30日 公共交通調査特別委員会
- 5月**
 - 13日 議会運営委員会
 - 16日 公共交通調査特別委員会
 - 20日 総務常任委員会
 - 22日 総務常任委員会
 - 27日 民生常任委員会
 - 28日 建設常任委員会
 - 29日 産業常任委員会
- 6月**
 - 2日 建設常任委員会
 - 9日 議会運営委員会
 - 12日 本会議（第2回定例会）
 - 17日 情報化対策特別委員会
 - 18日 本会議
 - 24日 議会改革推進協議会（幹事会）
 - 25日 総務常任委員会
 - 26日 民生常任委員会
 - 27日 本会議
 - 28日 議会運営委員会
 - 29日 議会改革推進協議会
 - 30日 本会議



- 7月**
 - 1日 建設常任委員会（調査視察）
 - 7日 総務常任委員会
 - 8日 総務常任委員会（調査視察）
 - 16日 公共交通調査特別委員会（調査視察）
 - 18日 情報化対策特別委員会
 - 28日 情報化対策特別委員会
 - 29日 総務常任委員会（行政視察）
 - 30日 公共交通調査特別委員会（調査視察）
 - 31日 公共交通調査特別委員会（調査視察）
 - 8月**
 - 12日 公共交通調査特別委員会
 - 13日 議会運営委員会
 - 18日 民生常任委員会（行政視察）
 - 19日 総務常任委員会（行政視察）
 - 25日 総務常任委員会
 - 27日 産業常任委員会
 - 28日 建設常任委員会
 - 29日 議会運営委員会
- （宮城誠真短期大学との意見交換会）

第2回定例会 議案審議

令和7年第2回定例会の議案審議は、6月12日、17日、27日の3日間で延べ11人が質疑を行いました。
議案質疑の要旨については次のとおりです。

空き家対策事業

問 800万円の補正理由を伺う。

答 令和6年4月から相続登記が義務化された事もあり、空き家の所有者から想定以上の相談があった。当初予算編成後4月末までに、23件ほど相談があり、現地確認を行い、危険な状態で倒壊等のおそれがある16件を対象と判断した。

当初予算で6件分を計上しており、今回の補正については、不足する10件分と今年度内に見込まれる6件分、計16件分を補正計上するものである。

問 相続登記の義務化があり、件数が一気に跳ね上がった様な状況なのか、補助件数の推移を伺う。

答 相続登記が義務化された6年度の実績は13件だった。直近5年間の推移については、2年度が3件、3年度が5件、4年度が2件、5年度が8件という事で、

明らかに相続登記の影響が大きいものと捉えている。

学校給食費

問 米の物価高騰分の補正との事だが、どの程度上がっているのか。

答 60kg当たり2万1000円で購入している。これが今現在、既に2万5000円まで上がっており、今後、これが3万円程度まで値上がりすると考えている。

問 事業費の積算根拠を伺う。

答 約1300万円を補正計上しているが、教職員含む約9360人を基本と据えながら、交付金等の対象と見込んでいるのは児童生徒の保護者という事で、8500人程度で積算を行った。

災害時用備蓄品整備事業

問 今回補正計上された理由を伺う。

答 避難所の生活環境を改善する防災の取組への支援を目的とした、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金、その中のメニューの地域防災緊急支援型に、避難所用の備品として段ボールベッド等の簡易ベッド300個、間仕切り用テント100組を申請し、今回採択された事から、補正で予算計上を行った。

問 段ボールベッドと間仕切り用テントはどの程度備蓄されているのか。

答 段ボールベッドが398個、間仕切り用テントを172組備蓄している。

問 大崎市が備蓄している資機材等の充足状況について伺う。

答 以前から可能な限り補充してきたが、今回の補充で足りるかという点、東日本大震災程度の災害を想定した場合には、全て万全であるとは言えないと考えているので、今後も国の交付金等も活用しながら、導入を進めていきたい。

各種予防接種事業

問 補正内容について伺う。

答 主に予防接種の接種委託料で、新型コロナウイルスの接種に係る委託料約2171万円、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種に係る委託料約2669万円を予算要求するほか、キャッチアップ接種の経費として、予診票の印刷、接種勧奨通知の為に印刷製本費、通信運搬費等を補正するものである。

高付加価値化米づくり支援事業

問 約1000万円の減額となった要因を伺う。

世界かんがい施設遺産ツーリズム 拠点推進事業

問 事業概要について伺う。

答 南原穴堰が世界かんがい施設遺産に認定された事を受け、インバウンドも含めた交流人口の創出の機会と捉え、南原穴堰を拠点としたツーリズムモデルの確立に向けて、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金、第2世代交付金制度を活用した事業申請を行い、採択された。本事業の目的は、第一に、世界かんがい施設遺産南原穴堰のツーリズム拠点環境整備を進める事で、インバウンドを含めた新たな交流人口の確保を図ること。第二に、大崎耕土の農畜産物等の分析やメニュー開発など、食の魅力を高めた新たな

答 令和7年産のささ結の作付拡大を目指し、当初327haを目標として10a当たり1万円を支援する事業だったが、全国的な米不足により、慣行栽培でも高価格での取引が行われており、ささ結に求められる減農薬、減化学肥料、さらには食味基準等を設けた特別栽培に新たにチャレンジする方が増えず、これまで作付していた方が慣行栽培に移ったケースもあり、作付面積が目標に届かなかった。

橋りよう長寿命化修繕事業

問 補正内容を伺う。

答 令和5年度から、J Rと協定を締結し事業を進めている田尻地域の市道荒谷大貫線と、J R東北本線が交差する貝ノ堀跨線橋耐震補強補修工事において、6年度事業で実施予定としていた橋脚の耐震補強に伴う掘削作業中に軟弱な土質が発見された。その対策検討や工法選定に時間を要した事により、一部工事が6年度中に施工出来なくなったため、6年度の未施工分と併せて、7年度に工事を行うものである。

問 橋りよう長寿命化修繕事業の優先順位は基本的にはどの様に決めているのか。

答 5年ごとに定期点検が義務化されている。市が管理する市道に架かる橋梁865橋の中に、特に緊急性が高い橋梁は無いが、早期に措置を講ずべき橋梁が65橋あり、交通量や重要性から優先順位を判断し、計画的に橋梁修繕を実施している。

なツーリズムを推進し、高付加価値化及び地産地消を進め、循環経済を促進する事である。

第3回定例会の予定

次の定例会は、令和7年9月10日から10月3日までを予定しています。

傍聴者人数

第2回定例会
78人

議会中継(LIVE) アクセス件数

第2回定例会
1,752件

ご意見・ご感想をお寄せください

議会だよりについて、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡下さい。

発行 大崎市議会 〒989-6188 大崎市古川七日町1番1号
TEL 0229-23-2236 FAX 0229-23-1013
E-mail gikai@city.osaki.miyagi.jp

メール送信はこちらへ





→ 一般質問

令和7年第2回大崎市議会定例会は、6月12日に招集され、6月27日までの16日間の日程で行われました。

市政に対する一般質問は、6月24日、25日、26日、27日（4日間）の日程で、22人が市長の見解を質しました。要旨は次のとおりです。

国道の改修工事の今後



木村 和彦



問 国道108号古川東バイパス完成後の渋滞緩和について伺う。

答 市街地での渋滞緩和については、部分開通により14分短縮され、全線開通により更に6分の時間短縮効果が見込める。

問 竹の花以北の国道4号拡幅について進捗を伺う。

答 竹の花交差点以北の工事については、今後も気を緩める事なく、国への要望活動を強力に進めていく。

文化施設

問 施設の案内表示板が少なく、存在が小さく感じる。設置の現状について伺う。

答 案内表示については、要所に設置している。イベント開催時には補助看板を掲示し、会場までの案内を実施している。

問 大崎市図書館の多目的ホール改修の考えを伺う。

答 多目的ホールの改修については、利用しやすくなるよう改修に努める。

暮らしを豊かに



八木 吉夫



問 結婚・子育て支援について、本市と仙台市を比較すると結婚や妊娠、出産への支援の在り方に差異があり、同等の支援を行うべきと思うが所見を伺う。

答 他自治体の支援事例を参考にしつつ、幅広い世代や、様々な立場の市民の皆様から御意見を頂き、何が求められ、何が必要かの検討を行い、次期第3次大崎市総合計画にも反映していく。

問 江合地区、福浦地区の雨水冠水対策の進捗状況を伺う。

答 大崎市雨水管理総合計画において、江合・福沼・大江川沿線地区等を最優先対策地区に位置付け、施設整備を行う予定としている。江合地区等の最優先対策地区の事業スケジュールについては、現在、事業実施中である李塚地区等の整備に一定の目途がつく概ね5年後に、下流部から工事着手する事を目指していく。



横山 悦子



実情を捉えた子育て支援

問 保育所等におけるICT化推進事業について考えを伺う。

答 国の補助事業の適用要件のほか、市や運営主体となる事業者の費用負担など、導入に向けた課題整理を検討する。

問 令和8年度本格実施となる誰でも通園制度の進捗状況について伺う。

答 条例や要綱の整備、システム改修事業者の認可確認や利用者への通知など、準備を進めている。

問 物価高騰対策として幼稚園、こども園への臨時交付金を利用した給食費の負担軽減について所見を伺う。

答 国の補助事業等の活用を視野に支援対策を検討する。

問 保育所等の災害時ガイドラインはいつ完成するのか。

答 災害時の基本的な対応等に関する、一定の方向性を示すものとして作成を進めており、整い次第、保育施設で説明会を開催し、周知に努める。



只野 直悦



医療的ケア児支援

問 医療的ケア児支援において、市が最も重要と考える課題は何か伺う。

答 医療的ケア児の受入先を今以上に拡充する事が大きな課題である。

問 医療的ケア児支援が進まない要因は、障がい福祉全般の課題として、人材不足が大きな要因である。一自治体の福祉担当部門が抱える課題の範疇を大きく超えており、国・県の施策として早期に取り組んで頂くよう、要望に努める。

問 短期入所施設は県北方面には無いので、大崎地域や隣接の栗原市、登米市と連携して県に要望すべきと思うがどうか。

答 国や県で広域的に大きくやって頂きたいという考えである。

問 家族会等から意見交換や対話の場の申入れがあった場合には、是非対応して頂きたいがどうか。

答 団体からの意見聴取の場にもなるので、希望があれば対応していきたい。



早坂 憂



冠水対策

問 令和7年5月31日の冠水状況と、降雨に対する所見を伺う。

答 当日は、6時間雨量で5月としては観測史上最大の降雨量を記録した。冠水の原因は、雨水の排水先となる現大江川等の本流が、一時的に越水した事によるものと考えている。台風時期と同様の対策を講じ、31日の午後から翌日にかけて、各地で通行止めを行った。

問 大江川周辺では、冠水に備えて自家用車を事前に避難させる家庭が多かった一方で、避難出来なかった家庭もあった事から車両避難の周知啓発方法について所見を伺う。

答 車両を含めた一時避難について、立体駐車場を有する民間事業者と協定を締結している。エリアメールや大崎市防災ポータルでの発信、市公式ウェブサイトや市公式SNSを活用して発信を行う事としている。



小玉 仁志



第2次大崎市産業振興計画

問 本計画を基にした具体的な地域産業の将来像について伺う。

答 市民が将来に不安なく安心して暮らすため、継続して働ける環境の構築、持続可能な産業の確立が必要だ。本市の強みを伸ばす投資の拡充やイノベーションの促進を図るとともに、世界農業遺産等の地域資源を生かした産業の創造が将来像である。

問 地域事業における人材不足の状況把握及び考え方はどうか。

答 企業訪問や会議を通じ、人材確保に苦慮している事業者が多い事は把握している。令和6年8月に大崎市地域雇用創造協議会を立ち上げ、学生やUIJターンの人材の誘引を目的とした雇用対策事業に取り組んでいる。

掲載以外の項目

・がん教育、がん対策に関連する施策



鎌内つぎ子



学校給食の無償化

問 学校給食費の無償化は、令和8年4月から小学校で全国一律に実施される予定で中学校への拡大もできる限り実施予定とされているが、市独自の子育て支援策として、3人目以降の学校給食費1600万円の負担軽減は出来ないか。

答 国では、まずは小学校を念頭に8年度から実施するとしており、詳細については示されるのを待ち望んでいる。引き続き国の動向を注視し、小中学校における学校給食費の無償化を国に要望していく。

さくら保育園の建て替え

問 老朽化した保育園の建て替えに対する市の支援策について伺う。

答 老朽化が著しい保育施設の整備については、市全体の児童数の推移や財源の見通し等も含め、環境変化を見極めた上で、基盤整備の必要性を慎重に判断する。子どもたちの安心・安全の為に、できる事を考え相談させて頂く。

掲載以外の項目

・サイクルツーリズムの推進
・松山ふるさと歴史館の在り方



法華 栄喜



学校の防犯対策及び防災備蓄体制

問 市内小中学校の防犯や不審者対策として防犯カメラの設置状況はどうか。

答 市内全学校のうち約70%が設置完了している。残り約30%も令和7年度中に整備完了予定である。

問 学校施設の非常食や防災用品の備蓄はどうか。

答 避難所となる学校の防災倉庫には発電機や毛布等の資機材を保管している。非常食は各地域に分散管理し、必要時に供給できる体制である。非常時には速やかに提供出来るよう、平時から関係部署と連携を深めていく。

問 古川地域の非常食は、大崎市民病院旧南病棟で一括管理しているが、リスク分散のため数か所に分けてはどうか。

答 今後検証し、適正な管理に努める。



小沢 和悦



令和の米騒動と大崎市の対応

問 市の総合計画が掲げる誇りある農業の振興は、人口減少に歯止めをかけ、内発型産業、地域経済発展に欠かせないという認識を、市長は持っているのか。

答 稲作を中心とした農業は本市の基幹産業であり、地域経済の発展に欠かせないものと認識している。

問 令和の米騒動は、消費者にとっては米不足と米価の異常な高騰、また、米作り農家の激減という米をめぐる二重の危機と考える。その原因は政府による減反政策での米不足と、価格を市場任せにしてきた事に問題があったと考える。今後は、増産に転換し農家が安心して生産出来るよう、政府に価格保証、所得補償する為の予算措置を早急に求めるべきと考えるが市長の所見を伺う。

答 新年度当初から政府等に要請し、一定の役割を果たせたと思っている。今後の新たな農業政策が持続可能な仕組みとなるよう引き続き要望していく。

一般質問（市長に聞きました）



山田 匡身



教育行政

問 深刻化するSNSトラブルやネットいじめへの対応として、情報モラル教育をどの様に進めているのか伺う。

答 保護者向けの講座を充実させながら、子どもたちが安心して情報社会を生き抜く力を育めるよう、情報モラル教育を一層推進していく。

問 健康診断でのプライバシー保護の現状について伺う。

答 健康診断では周囲に配慮し、パーティションの設置や、女性教職員の立ち会いを行うなど工夫している。今後も安心できる環境づくりに努める。

空き家対策

問 鹿島台地域では、区長会が中心となって空き家対策の勉強会等に取り組んでいる。こうした地域の動きに対し、市の認識と今後の対応を伺う。

答 鹿島台地域の取組を生かし、連携を強化し空き家対策を進めていく。



木内 知子



松山地域の公共施設改修対応方針

問 複合施設は白紙化となったが、公民館のエレベーター設置によるバリアフリー化の実現について伺う。

答 現在、公共施設等総合管理計画に基づき、関係課で課題の洗い出しを行っている。今ある既存の施設の状況、財源の見通し等を考慮し将来像を協議していく。

問 かつて、市長は地域住民が納得する利便性のある施設にしようと言っていたが、今も変わりはしないか。

答 変わらない。全体的な構想に同調頂けないならば、住民の意思を尊重し、着地できる事から実施する選択しかないのではないかという思いでもいる。

聴こえくつきり事業の推進

問 市民健診で、聴こえについての聞き取りを始めるのではなかったのか。

答 健診の時間がかかる事や新たな従事者の配置等課題が多いため、専門医による講演や研修等で啓発に注力していく。



藤本 勤寿



大崎市の歳入拡大策

問 大崎市の歳入拡大策として、受益者負担の考えから、大崎市への行政視察の有料化、個別株投資による配当金収入拡大の2点を検討すべきと考えるが所見を伺う。

答 他自治体での事例を研究しながら導入について検討したい。

市役所・学校の職員の業務負担軽減

問 カスタマーハラスメント対策と若手職員の業務時間創出のため、受電時の自動録音機能の設定と業務時間外の自動音声対応の設定を検討すべきと考えるが所見を伺う。

答 令和7年6月、雇用主に対してカスタマーハラスメント防止措置を義務化する法律が成立した。今後は国の動向を注視し、導入について調査研究したい。



伊勢 健一



小学校跡地の利活用

問 小学校跡地の利活用の現状と今後の展開について所見を伺う。

答 現状は、旧富永小学校が古川農業協同組合本店として業務が開始され、旧西古川小学校は、大崎市立おおさき日本語学校として開校している。

今後の展開は、民間事業者からの提案を積極的に受入れられるよう、手続きを円滑化する等の対応をしていく。

戦没者慰霊碑

問 市内戦没者慰霊碑の現況と今後の考え方について所見を伺う。

答 市内には、戦没者遺族の方々によって建立された慰霊碑が36基ある。管理を担ってきた遺族の高齢化、慰霊碑の劣化など管理が困難になってくる事も考えられるので、今後も国の支援策も含め状況把握に努めていく。



佐藤 弘樹



積極的な空き家対策

問 放置空き家は課題であり、空き家減少に向けた取組を積極的に進めるべきではないか。

答 空き家バンクや危険空家等除却費補助、専門家による相談会等を実施し、今後も関係各位と連携し空き家対策に努める。

問 全国的に移住定住での空き家活用事例が成果を挙げているが、柔軟な発想や補助制度を設け、施策を展開する考えは。

答 様々な成功事例を参考に、物件の掘り起こしや利用希望者とのマッチングなど、空き家有効活用の検討を進める。

小中学校に配備された楽器更新

問 各学校に配備された楽器の状況を踏まえ、計画的に更新する考えは。

答 楽器は、学校要望により状況確認後に更新しているが、他校余剰分の楽器も活用し、必要に応じて新規購入も検討する。



遊佐 辰雄



物価高騰対策

問 物価高騰が続いている。市民生活を支援するため、国に対し物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等の財源確保と、消費税の減税を行うよう強く働きかけるべきではないか。

答 各種支援を政府等に要望してきた。消費税減税は、国でも議論しており、動向を注視していく。

問 水道料金の減免を検討できないか。

答 現在の状況では、非常に厳しい。

鳴子幼稚園等の利活用

問 休園している鳴子幼稚園は解体し、跡地の有効活用を図るべきではないか。

答 閉園の手続きを進めながら跡地の有効活用も考慮し、建物の解体について関係課と協議を進める。

問 旧鳴子小学校で、過去に収集した鳴子漆器の展示を全国こけし祭りに間に合うように行うべきではないか。

答 祭りの実行委員会と協議相談する。

一般質問（市長に聞きました）



石田 政博



内川周辺の景観づくり市民協定

問 支援体制と内川周辺の維持保全の考えを伺う。

答 内川は景観形成重点地区の指定候補地に選定しており、まずは地域の方々の意見や思いを伺う機会を設け、支援の在り方を検討する。また、牛洗淵ポケットパークの除草は市の委託業務であり、今後施行時期を保全隊と調整して行う。

いづも・子育て支援

問 就学前の5歳児健診の必要性について伺う。

答 就学まで切れ目のない支援体制の整備を目的に、令和7年度は全ての公立保育所、子育て支援総合施設を対象にモデル事業として行う。体制が整い次第広く周知していく。

- 掲載以外の項目
- ・ 防犯カメラ
- ・ 学校遊具更新



氏家 善男



令和の米騒動への見解

問 インバウンドによる訪日客の増加など需要量を見誤った事から米不足、価格高騰になったと考える。需要に応じた米の生産は誤りではなかったか。また収穫量において農業共済で使用する網目は1・7mm、出荷時の農家の網目は1・9mmであり、この差が作況指数、生産量の差異になると考えるが、市の見解を伺う。

答 令和6年産までの米の端境期において、農業政策では対応、調整できない変化が生じた。網目の問題、作況指数の見直し等も含め検討するとした国の動向を注視したい。

問 大崎市民病院や学校給食への影響はどうだったか伺う。

答 病院への米の供給についての影響は、本市では無かった。学校給食においては食材の値上がりがあったが、供給には問題が無い。



小嶋 匡晴



廃校・休園した教育施設

問 鳴子温泉地域における廃校・休園した教育施設の現況について、どの様に捉えているか。

答 各施設の現況は確認しており、維持管理として周辺の草刈等を年に一回程度実施している。今後の管理については、市有財産適正管理の観点から解体も含め、施設の在り方を検討する。

問 令和7年3月に閉校した鬼首小学校・川渡小学校・鳴子小学校の今後の維持管理と活用について伺う。

答 維持管理については教育委員会と鳴子総合支所が連携、協議しながら実施していく。また、利活用について、鳴子総合支所や関係課と協議していく。

掲載以外の項目

・大崎市の里親制度の普及・啓発



鹿野 良太



指定地域共同活動団体制度の推進

問 令和6年の地方自治法一部改正により制度が創設された。老人会や子ども会、婦人会など、地域の団体が維持出来なくなっている。多様な主体が参画し連携・協働する枠組みを構築するため、関係条例の制定が必要ではないか。

答 大崎市持続可能な地域自治に関する有識者会議の中でも取り上げられており、導入への可能性を議論していく。

ふるさと住民登録制度

問 関係人口の継続的な関係構築と信頼関係の醸成のため、本制度は有効だと考えるが導入に向けてどう考えるか。

答 現在国において制度設計が進められており、ふるさと納税との連携も含め、有効な活用策を研究していく。

掲載以外の項目

・全世代・全員活躍型生涯活躍のまち
・地方公務員の兼業・副業の弾力化



佐藤仁一郎



ひまわりを活用した観光推進

問 市の花であるひまわりを、鉄道沿線や駅舎、学校や公園など市内各所で栽培し、再びひまわりの咲くまちとして大崎市をPRするとともに、観光客をもてなし、交流人口拡大に繋げてはどうか。

答 ひまわりを市のプロモーションにも積極的に活用し、ひまわりの咲くまち大崎市の魅了発信に努めていく。

土地改良事業

問 小規模農地でも、水利ポンプや、用排水路、農道、畦畔等の土地改良事業に対する補助率の拡充を図るべきと考えるが支援は出来ないものか。

答 施設の老朽化、各種資材の高騰により農家の負担が増大していると認識している。本市条例の補助率の引き上げや受益面積の要件緩和については、近隣自治体の補助率等を勘案しながら検討したい。



加川 康子



子育て支援分野におけるDX推進

問 子育て支援分野は制度が複雑で申請者・職員ともに負担が大きい。課題解決にはDX推進が不可欠だが、本市の進捗はどうか。

答 保育施設の利用申請や児童手当の支給など、手続きのオンライン化を段階的に進めており、令和7年1月から児童手当のオンライン申請を開始する。今後もし便性と業務効率の向上を図っていく。

問 保育申請に必要な書類や確認事項を、電話や来庁無しに申請者が把握出来るよう、デジタルツールの活用を進めてはどうか。

答 市ウェブサイトで、申請者がチェックシート等で事前確認出来る様な工夫も含め、今後、ツール選定と活用の検討を進めていく。

掲載以外の項目

- ・暮らしやすさとD&I推進
- ・職員のウェルビーイング推進

一般質問 (市長に聞きました)



中鉢和二郎



過疎地の交通弱者対策

問 令和6年4月、日本版ライドシェアが新たにスタートした。これまでに何度かのバージョンアップが行われ、様々な運用改善や緩和措置が取られて来ているほかにも、以前から認められていた交通空白地有償運送や福祉有償運送も、公共ライドシェアと呼称が統一され様々な運用改善がなされて来ている。

大崎市でも交通手段の確保は重要な課題であり、ライドシェアの導入は喫緊の政策課題と考えるが市長の所見を伺う。

答 今後、9年度から新たな公共交通計画の策定に向けて、庁内で専門家を招いた勉強会を行いながら、地域との話し合いを実施し、公共ライドシェアについて地域への情報提供を行うなど、意見交換を図っていききたい。

掲載以外の項目

- ・防犯インフラ整備
- ・旧鳴子総合支所跡地利活用策

一口メモ

「D&I(ダイバーシティ(多様性) & インクルージョン(包摂性))とは」
年齢や性別、国籍、学歴、特性、趣味嗜好、宗教などにとらわれない多種多様な人材が、お互いに認め合い、自らの能力を最大限発揮し活躍出来ること

「ウェルビーイングとは」

個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念

「ライドシェアとは」

一般ドライバーが自家用車を活用して、ほかの利用者を運送する相乗りサービスのこと。

日本型ライドシェアでは、タクシース会社の管理のもと、一般ドライバーが自家用車を利用して有料で乗客を送迎する事を可能にした



議会報告・意見交換会への御礼

令和7年議会報告・意見交換会を開催しました。

意見交換会のテーマは「子育て環境について」「公共交通利用について～大崎市をもっと暮らしやすくするために～」で地域での開催では、延べ135名の皆様に御参加頂き、貴重な御意見を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

なお、詳細は「市議会だより第88号」（12月1日発行）でお知らせします。

地域での開催会場（9回実施）

●はオンライン配信実施

7月7日	●大崎市図書館	7月17日	大貫地区公民館
7月8日	●松山公民館	7月18日	岩出山総合支所
7月14日	三本木総合支所	7月22日	西古川地区公民館
7月15日	長岡地区公民館	7月29日	鳴子公民館
7月16日	鹿島台総合支所		

ワールドカフェ形式での開催会場（1回実施）

ワールドカフェおおさき～持続可能なまちづくり～	
7月26日	大崎市役所本庁舎

各団体との開催状況

総務常任委員会所管分

- 7月14日 家庭教育支援チームおおさき
- 7月25日 大崎市スポーツ少年団
- 7月31日 多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

民生常任委員会所管分

- 8月12日 大崎市民生委員児童委員協議会

産業常任委員会所管分

- 8月5日 大崎市森林組合

建設常任委員会

- 7月25日 大崎市管工事業協同組合
- 7月28日 大崎市建親会



家庭教育支援チームおおさき



大崎市管工事業協同組合

ご参加頂きありがとうございました！

議会報告・意見交換会での新たな取組

令和7年議会報告・意見交換会では、オンライン配信やワールドカフェ形式での開催会場を設けたほか、当日参加出来なかった方等から提出頂いていた意見提言書をウェブフォームから提出できる様にするなど、新たな取組を行いました。

今後も、大崎市議会基本条例に掲げている市民に開かれた議会を目指し、市民の皆様の多様な意見を把握するため、市民参加の機会の拡充に努めて参ります。

オンライン配信

7月7日、8日開催の大崎市図書館及び松山公民館において、Zoomを活用したオンライン配信を行いました。

様々な方法を検討しましたが、今回は事前申込制で視聴のみ、チャットで頂いた御意見は会場で頂いた御意見と同様に取扱う形で実施しました。



大崎市図書館の様子



松山公民館の様子

ワールドカフェおおさき～持続可能なまちづくり～

7月26日に持続可能なまちづくりについてをテーマに、大崎市役所本庁舎でワールドカフェ形式による意見交換を実施しました。

当日は、参加申し込みを頂いた33名の皆様と現状認識の共有や目指すべき姿について、活発に意見交換を行いました。



第77回おおさき古川まつり

令和7年8月3日、4日に「第77回おおさき古川まつり」が開催されました。前夜となる2日にはおおさき花火大会が開催され、雨に当たる場面があったものの、多くの人々が楽しんでいました。3日には古川おどり、創作みこしパレード、4日には古川まつり太鼓が行われました。また、市役所駐車場には数年ぶりとなるステージが設営され、オールドリバーフェスが開催されたほか、市役所1階パタ崎さん家には短冊ロードを設置し、地域交流センターあすもでは、東京都台東区江戸下町職人展、姉妹・友好都市うまいものフェアが行われました。

議会としても昨年に引き続き古川おどりに参加させて頂き、多くの方々からの御声援もあり、まつりを楽しむ皆様の活気を感じる事が出来ました。



古川おどりに参加しました！

東京都台東区議会との姉妹都市交流

東京都台東区とは、東北新幹線開業を機に上野浅草キャラバン隊の来訪、古川市民号の台東区訪問など交流が深まり、昭和59年1月14日に旧古川市と姉妹都市提携を結びました。



令和6年には、姉妹都市提携40周年を迎えましたが、現在でも台東区の小学校でこけしの絵付け体験、おおさき花火大会での台東区のPR、古川まつりと全国こけし祭りでの江戸下町職人展の開催、スポーツ少年団スポーツ交流、台東区の小中学校等への新米贈呈など、様々な分野で交流を行っています。

議会でも、台東区議会の交流事業として初当選議員の皆様は大崎市へお越し頂いており、令和7年7月10日から11日にかけて、台東区議会の石川義弘議長と台

東区議会19期及び20期の初当選議員の皆様が本市を訪れ、議長・市長表敬や意見交換会、吉野作造記念館や旧有備館及び庭園等の市内施設の視察を行いました。意見交換会では、みちのく古川食の蔵醸室（かむろ）の運営について、地域交流センターあすもで行われているロビーコンサートについて、公園の中の宿ロマター作り体験、そば打ち体験について等の質問を頂き、活発で有意義な意見交換を行う事が出来ました。今後とも継続的な交流や協力を重ね、友好関係を深めて参ります。



表彰

表彰

第101回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として10年以上在職（町議在職期間は1/2加算）し、市政の発展に努められた功績により、5名の議員が表彰を受けました。

◎議員45年以上

小沢 和悦

◎議員25年以上

木村 和彦

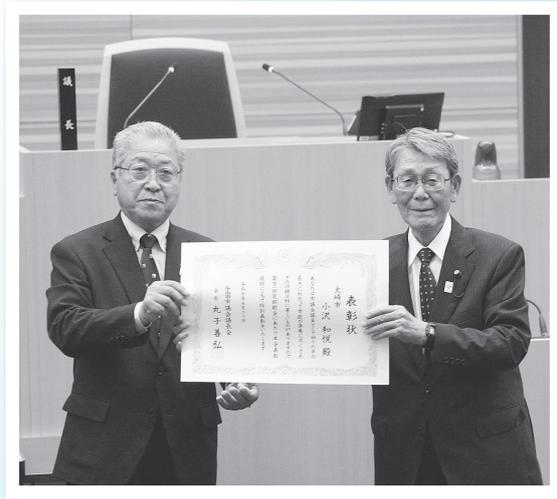
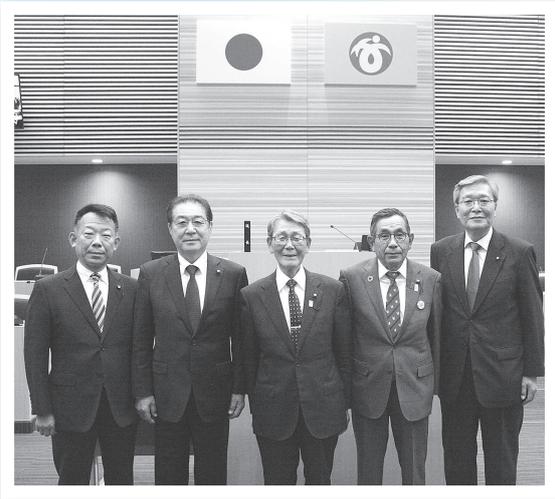
◎議員20年以上

相澤 久義

中鉢 和三郎

◎議員15年以上

八木 吉夫



表彰紙の写真

古川みんなのテーブルは、平成30年に設立し、5〜6人の運営メンバーで活動する市民団体です。世代や立場を超えて人と人が繋がり、安心して過ごせる居場所づくりを目的に、年に3〜4回程度、子どもたちの体験活動を行っています。

令和7年7月には、大崎市図書館にて、段ボールを使って家や車を作り遊ぶ企画を開催しました。未就学児や小学生の親子に加え、大崎中央高等学校の生徒の方々が、子どもたちの遊びをサポートする為にボランティアで参加し、交流する場となりました。11月にはSDGsキッチンと題し、食材を有効活用する料理体験を企画中とのこと。子どもたちの体験の場を提供している、かけがえのない団体です。



大崎市公式LINEを活用した情報発信

令和7年6月から、大崎市公式LINEを活用した市議会情報の発信を行っています。定例会や委員会の開催情報、市議会が主催するイベントの開催情報等を発信しています。既に大崎市公式LINEを友だち追加している場合の受信設定方法は以下のとおりです。是非、設定してください！

※友だち追加は右下の二次元コードから行えます。

受信設定方法

- 大崎市公式LINEのトーク画面を開き「←文字入力/メニュー表示▲」を選択
- 「メインメニュー3」の「議会」を選択
- 「市議会受信設定」を選択
- 「設定」を選択
- 「市議会情報の受信設定が完了しました」のメッセージが表示されれば、設定完了です

大崎市公式LINEの友だち追加は、以下の二次元コードから行えます。受信設定の際に、「議会からのお知らせ」を「設定」にしてください。

編集を終えて

大崎市議会だより9月号を御覧いただき、ありがとうございます。本号では第2回定例会での議案審議、22名の議員の一般質問、議会の取組など、多様なテーマを盛り込みました。

7月に実施された参議院選挙においても、物価高騰と税制の在り方が大きな焦点となり、候補者間で消費税率の再検討、中小企業・低所得者層への配慮等が争点として浮かび上がりました。市議会としても、国政の動向を注視しつつ、地方の視点から実効性のある政策提言を行うとともに、これからも、市民の声を大切にしながら、より良いまちづくりを進めて参ります。皆様の御意見や御感想を是非お寄せください。次号もどうぞお楽しみに。

法華 栄喜

情報化対策特別委員会

委員長 早坂 憂
副委員長 加川 康子
委員 小玉 仁志
法華 栄喜

中鉢和二郎

山田 匡身
石田 政博
横山 悦子